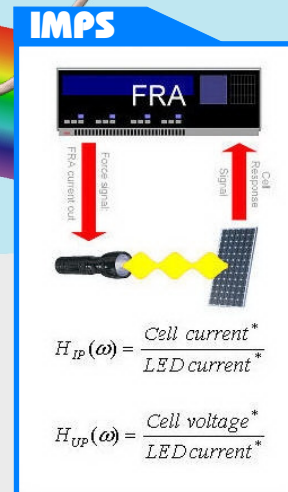
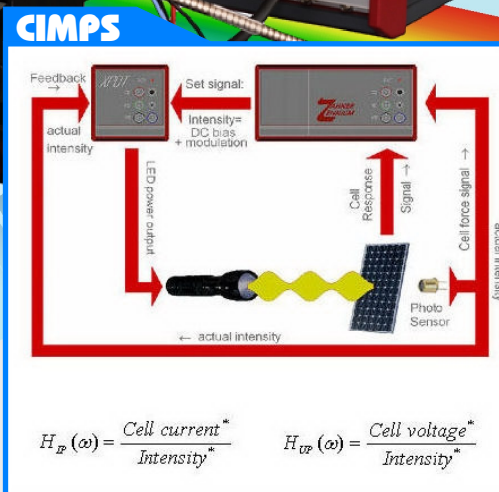
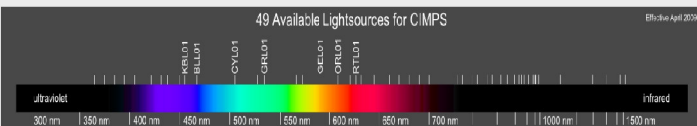


太陽電池の研究に 世界の研究者が使用している 日本市場初の完全測定システム I-V測定(Fill-factor)、IPCE測定も可能



※写真はオプションのCIMPS-1-absシステム



CIMPSシステムの詳細はZAHNERのHPをご覧ください。
詳細は消耗品も充実のBASホームページをご覧ください。

CIMPS

検索

CIMPS SYSTEMとは

Zahner社CIMPS測定システムはIMPS、IMVSの測定を目的に設計した市場初の完全測定システムです。

その利点として、

- ・光源のコントロールループが光強度および変調を安定するように規制されています。
- ・光強度の設定値と光センサー感知値の自動比較で、非線形、劣化と温度ドリフトの影響が除去されます。
- ・従来IMPS測定中よく使われるLED光源電流大きさ制御法の代わりに、測定した光強度を伝達関数計算に取り入れており、そのためスケールとフェーズシフトを避ける事が出来ます。
- ・CIMPSは光強度(W/m²)単位で光照射強度の自動キャリブレーションを行い、即時の量子効率情報を提供出来ます。
- ・CIMPSシステムを使用することによって、光照射強度と変調の安定性が測定時間中にキープされ、EIS、IMPS、IMVSと光強度測定データのダイナミックな比較が出来ます。
- ・共通モデルの構築が可能になり、シミュレーションにより光電子の発生、拡散効率、再結合などの機構が調べられます。
- ・CIMPS/CIMVS測定以外に、I-V測定(FF因子)、IPCE(量子効率)測定等も簡単にできるため、CIMPSシステムは色素増感太陽電池評価にとっても有用なシステムです。